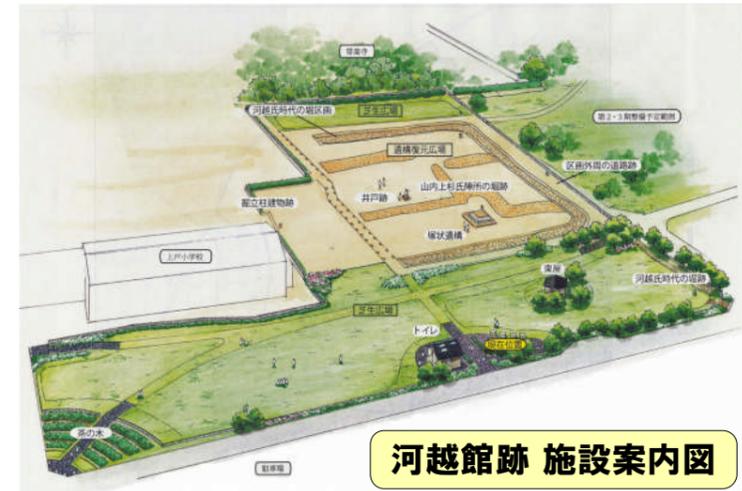


河越館跡 史跡公園としてオープン



河越館跡 施設案内図

史跡の全体面積は約四万九千㎡のうち公有地約三万八千㎡、第一期工事として約一万四千㎡が史跡公園として整備され、十一月十四日オープンします。

公園には井戸跡、堀区画、塚状遺構が復元されています。日本共産党は三十七年前「河越氏館跡を保存する会」に加わり公園化に向け、市議会などで提案してきました。

市民の願い実現へ みなさんと力を合わせて取り組んでいます

資源化センターの試運転が始まります

川越市資源化センター（新清掃センター）の熱回収施設が完成、十月二十日に火入れ式がおこなわれ、試運転がはじまります。

施設全体は三年計画でリサイクルセンターなどを含め総予算約二百三十億円です。



資源化センターの熱改修施設。煙突の高さは90m！

河越館跡・名細市民センター・資源化センター（新清掃センター）オープンへ



工事が進む資源化センター。進捗状況などを視察しました。

みなさんこんにちは。お元気ですか。総選挙後最初の市議会が終りました。この間にもたくさん生活相談が寄せられています。

七月に市内で行われた相談会には派遣切りで仕事を失った若い方からの相談が目立ちました。住む場所を追われている人も多く、今議会では対応をただしました。

市はホームレスにある人に対し、転居費のほか、保護決定までの間ビジネスホテルなどを使用する際の費用なども決定後に支給すると答えました。



「駆け込み！何でも大相談会」の様子。切実な相談が寄せられました。

入間川以西の地域では、いくつかの大きな事業が進んでいますが、それぞれ完成にむけて最終段階に入っています。

河越館跡（上戸）11月14日、名細市民センター（小堤）11月29日、資源化センター（鯨井）来年4月と相次いでオープンします。

今後は使いやすい施設へ向け、運営などが課題です。みなさんのご意見をお寄せください。

また、資源化センターの隣に、

川越市が「新エネ百選」に

太陽光、風力発電など新エネルギーの取り組み等、優れた事例を対象に「新エネ百選」に川越市が選ばれました。

全小中学校五十五校など七十七の市施設に太陽光発電設備を設置。一般住宅にも市が補助を行い、一三二〇件の太陽光発電設備が設置されています。

名細市民センター11月末オープン



建物本体の工事は概ね完了し、現在外構工事等が行われています。11月29日竣工式が行われる予定です。

霞ヶ関北小跡地は見直し

熱回収施設の余熱を利用したプールなどを含む「なぐわし公園」が計画されています。

霞ヶ関北小学校は平成14年に新築移転、跡地のうち校舎棟などは解体され、グラウンドは公園として整備が進んでいます。しかし体育館はボロボロのまま残り、改修・活用が求められています。

これまで軽体育施設として改修が検討され、地域と話し合いが進んでいましたが、市長はタウンミーティングや議会でも霞北公民館と合わせて整備する案について言及しました。今後、地域に説明していくとされています。



ガラスが割られ、傷みの激しい旧霞ヶ関北小体育館。手前右側は整備されたグラウンド。

柿田 ゆういち

日本共産党 市議会議員 かきた 有一

2009年No.3 議会報告

市政・生活相談 ～お気軽にご相談下さい～

(自宅)川越市小堤306-5 / (携帯)090-7808-9234
(FAX)020-4669-8696 / (E-mail)mail@kakita.ac

発行 日本共産党議員団 / 連絡先 川越市役所 日本共産党議員団控室
電話 224-8811 (内線3636) / ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>



来年3月までに遊具5基設置。楽しみにしている市民の声を聞き市に要請しました。



市内小中学校に設置されている太陽光発電システム太陽光パネル（霞ヶ関北小）と表示盤（上戸小）